



インスピレーションになろう

2018～19年度 クラブテーマ 「奉仕の理想に向け、共に育とう」



会長 岡山量正

2018～19年度 理事・役員

会 長	岡山 量正	幹 事	川島 吉博	理事(長期計画)	橘 喜久夫
直 前 会 長	山口 尚志	S A	林 宏毅	理事(職業奉仕)	長友 克由
会長エレクト	國田 欣吾	会 計	稲田 義治	理事(社会奉仕)	今平 健一
副 会 長	初木 賢司	理 事	宮田 明	理事(国際奉仕)	瀬川 裕一
				理事(青少年奉仕)	養老 孝雄

例会プログラム

- 12:30 開会点鐘
- ・友情と親睦の握手
 - ・ロータリーソング
 - 「四つのテスト」
 - ・お客様紹介
 - ・会長の時間
 - お食事・歓談 —
 - ・幹事報告
 - ・委員会報告
 - 出席状況報告他

本日の歌♪

「四つのテスト」

真実か どうか
みんなに 公平か
好意と友情を
深めるか
みんなのために
なるかどうか

6月誕生日御祝



森岡会員 藤原会員 今平会員 荒幡会員 長村会員

本日の配布物

- ・6月12日週報

本日の回覧物

- ・6月例会出欠確認表

地区行事等出席予定(敬称略)

- 7/9枚方RC新年度ご挨拶 國田、橘、高島
- 7/11交野RC新年度ご挨拶 國田、橘、高島
- 7/13 19-20第3ゾーン戦略計画
推進セミナー 國田

第 2137 回 例会出席報告(6月5日)

総会員数	85名
出席者	48名
出席率	59.26%

第 2134 回 例会補正後出席率	67.50%
メーク	12名
欠 席	22名
除 外	4名



合 計	¥77,000-
累 計	¥1,641,000-



(敬称略・順不同)

- * (行百里者半於九十)
- 岡山会長もう少しお疲れ様です 山口伊太郎
- *岡山会長もう少しがんばってください!
- 中野保博
- *85歳誕生日祝を頂いた御礼に 藤原和彦
- *3分間スピーチの時間を頂きありがとうございます
- 川上和之
- *初木副会長卓話を聞かせていただき
- ありがとうございました 松吉富美彦
- *誕生日祝ありがとうございました 今平健一
- *出席状況報告かんでしまいました
- すみません 西澤宜征
- *川上会員スピーチありがとうございました
- 林 宏毅

6月入会記念日御祝



松田会員 白井会員

次回の例会は

6月19日(水)
ひらかた仙亭
12:30～13:30

- 卓話「次年度にむけて」
國田欣吾会長エレクト
- スピーチ 宮地会員
- 45周年実行委員会
- 新旧合同理事会

6月26日(水)
最終例会
ひらかた仙亭

- 退任ご挨拶
岡山会長、初木副会長
川島幹事、林SAA

会長の時間 岡山量正 会長



皆様こんにちは。本日例会終了後今年度最終の定例理事会がございます。昨日セパ交流戦で山中会員の一押し、阪神タイガースがロッテに初戦を勝ち、米田会員が大好きな巨人も勝ち双方勢いがつければと思います。

さて、5月後半から6月にかけて大変暑い日が続いております。観測史上記録的気候が続いていると報じられており、皆様も熱中症に気を付けていただきたい

と思います。

尾地区ではえんどう豆が雨不足で不作となり農家が困惑していると聞きます。農業については農業委員長をされている上山会員が多くの情報を持っておられると思いますのでお尋ねされたいと思います。

私事ではありますが、昨日暑い中、田植えをしております、直射日光と水の照返しで暑さで倒れそうになりました。雨不足になるとその年は異常気象を起こし、大雨になり洪水や河川氾濫になり注意が必要であるのではないかと心配しております。

卓話「親睦と奉仕について・親睦月間にちなんで」 初木賢司 副会長兼クラブ奉仕委員長



本来なら田中親睦委員長さんからの卓話なのですが、なぜか……。クラブ奉仕委員長の私になっているようで。少し肩苦しい話になるかも知れませんが、一度考慮頂ければ良いかと思います。

さて、親睦を目的として出発したロータリーも、長く真摯な議論を重ねながら、大きな変貌を遂げました。その結果、現在のロータリーの定款や細則の中から「親睦」の文字を探すのは難しく、わずかに親睦委員会の項目だけになっています。ロータリーライフの中でもはや親睦は不必要になってしまったのでしょうか？ロータリーの二本の柱として、ロータリアンのほとんどの方は、親睦と奉仕を挙げられます。また新年度の会長所信にも親睦と奉仕という言葉が出てきます。親睦と奉仕は、ロータリーライフを支える二本の大きな柱である事は、疑いの無い事実です。親睦が失われればクラブは崩壊するでしょう！ただ、親睦を図りたければ、誰だって無限の機会があります。気の合った仲間とゴルフや旅行、食事会などに行くのも良いでしょう。ロータリアンになって、定例の会合に出席しなければ親睦が図れないと言う理屈を非ロータリアンが聞いたなら、こじつけとして思うでしょう。

しかし、ロータリーは敢えて親睦と奉仕の解釈を、世間一般の人たちが考える解釈と異なる次元である事に気づいて理解してほしいのです。Fellowshipやserviceの意味をネット検索しても無意味です。ロータリーが定義する親睦と奉仕はどんな辞書を引いても正しい解釈が活字化されていない独自の概念であって、正しく理解しない限り、ロータリーの思想の原理を語ることが出来ないようです。Fellowshipを「親睦」と訳したことにも問題があるかも知れません。むしろ、「友情」とか「友愛」と訳す方が理解しやすいでしょう。米山梅吉氏が、ポール・ハリスのThe Rotarian Ageを翻訳するときに、その書名を「ロータリーの理想と友愛」とした事は有名な話です。理想＝奉仕、友愛＝親睦を意味するものであり、戦前のクラブ組織表では、親睦委員会の代わりに、友愛委員会の名称が使われていたそうです。

それでは、ロータリーが定義する親睦とは、どんなものなのでしょう？難しく言えば、「親睦」とはロータリークラブが、クラブとして存続していく上で欠かすことの出来ない必要条件となる、ロータリアン個人個人の心が結合した状態を表す概念なのだそうです。

ロータリー運動の実体を、見事に表した言葉として「入り

て学び、出でて奉仕せよ」という言葉があります。世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として奉仕の心が育まれます。この例会における一連の活動の事を「親睦」と呼ぶと思います。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に持ち帰り、奉仕k津堂を実践することが、理想とされるロータリーライフとの事です。

奉仕の心はクラブライフを通じて育まれますから、奉仕の心を形成する場合は、クラブの正式な会合、すなわち例会ということになります。例会を通じて、ロータリアン各自が高質で豊かな奉仕の心を培うためには、例会出席は欠かす事の出来ない義務であり、別な言い方をすれば、他のロータリアンに対する友情の証でもあります。

本来一人一業種で選ばれた会員が、毎週開かれる例会に集って、お互いが師となり徒となって、奉仕の心を学び自己研鑽を重ねます。これをロータリー運動の一つの柱と考えて、それを達成するために試みられる、ロータリアン同士の真の友情に裏打ちされたあらゆる活動の事を、ロータリーでは、「親睦」と定義づけているそうです。

親睦活動がクラブ奉仕の充分条件の範囲内で、親睦というロータリー本来の運動を高めるために補助的に活動することは大切なことです。しかし、親睦活動委員会の任務を、親睦会の幹事や同好会の世話役に留めることは大きな誤りです。確かに会員が心を打ち解けあう手段の一つとして、親睦会やクラブ活動などのリクリエーションも必要です。しかし、親睦を深める最適の場所は、毎週一回の定例の例会である事を忘れてはなりません。例会において、いかに友情を深めるかを考え実行すること、いかにして真の親睦が保たれるような環境を整備することが親睦委員会の最大の任務ではないのでしょうか？

我々のクラブや、ほとんどのクラブでは、新入会員は親睦委員会に配属されます。これは、新人だから下働きにしようということではなく、親睦委員として毎例会、会員相互の親睦を深める活動に従事することによって、一日でも早く、古い会員と融和を図ることを期待しているからです。

友情あふれる例会を通じて、ロータリアンがおたがいに切磋琢磨し、自己改善に努めることで、ロータリーの説く「親睦」が一層深まり、奉仕の心が高まることを期待して、難しいお話を終わります。ご清聴ありがとうございました。